

第 11 章

「プログラミング基礎」 課題

第 1 回－レポートの書き方 & C++ プログラムの初歩

11.1 レポート作成の練習

L^AT_EX を用いてレポート作成の練習を下さい。最初に、report_sample.tex を UTOL よりダウンロードすること。このファイルを Cloud L^AT_EX でコンパイルしてプレビューで見てみる。この課題はレポートに含める必要はない。

11.2 例題プログラムの実行

プリント中の以下のプログラムを実行して、実行結果について考察下さい。

2.2 節 例 1, 3, 4, 5

※レポート提出方法に関する注意

- レポートはすべて **PDF 形式による電子メールによる提出**とする。
- レポートの送付先: prog1-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
教員の個人アドレス宛には送らないこと。特に、再提出で教員からのメールにリプライする場合、送付先アドレスを必ず上記のものに修正すること。
- ファイル名は[課題番号]-[リビジョン (提出回数)]-[学生証番号].pdf とせよ。
例) 最初の提出の場合: 1-1-J0-000000.pdf, 再提出 1 回目の際は 1-2-J0-000000.pdf
- メールを送るときの件名は**レポート提出 [課題番号]-[リビジョン (提出回数)] [氏名]** とせよ。
例) 初回の場合: 「レポート提出 1-1 金井崇」、再提出 1 回目の場合: 「レポート提出 1-2 金井崇」
- 提出された PDF ファイルは、教員がコメントを付けてメールで返送する。したがって、**携帯のアドレスではなく、PC で良くチェックするアドレスから送付すること。**

※提出するメールの例（レポートの PDF ファイルを必ず添付すること）

To: prog1-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
From: <自分のメールアドレス>
Subject: レポート提出 1-1 <自分の氏名>

第 1 回目のレポートを提出します。

氏名: <自分の氏名>

所属: <自分の所属>

感想: 本レポートの課題についての感想を書いてください。特に

- プログラムを作成するにあたり難易度や苦勞した箇所
 - 授業の進め方
 - 教科書についてわかりにくい箇所
- などを書いてくださると有難いです。